

# (令和3年度 行田中 学校評価の結果について)

## <保護者アンケート考察>

- ☆全22の質問項目中、A(とても)+B(まあまあ)の評価の合計が10項目において上昇している。
- ☆特にNO21の質問項目においては、A+Bの評価が9%を超えてアップしている。コロナ禍において、行事の見直しをPTAの方々とも協力して検討したことが功を奏しているのだと思われる。
- ☆NO3のA+Bの評価の評価項目が5%以上上昇している。学校だけではなく、家庭も含め、「挨拶」の習慣が身についてきたと思われる。
- ☆No7、8の「相談しやすいか」とNo9の「カウンセラー」の項目が若干上がっている。1・3年生においてAの評価が上昇している成果であろう。いずれにせよ、相談体制の強化が望まれる。
- ★NO16の%が昨年に比べ極端に低くなっているのが学校としての課題であろう。家庭学習の定着について、家庭と連携をとりながら取り組みたいと考える。
- ★制服、ジャージ等の着用について、コロナ対策・熱中症対策として、どちらも可であったが、夏場での対応に苦慮したことを受けて、さらに丁寧に説明する必要があると感じる。また、ルールとモラルについて、学校側も共通理解する必要があると思われる。
- ☆★部活動に対するご意見が賛否両論多数であり、学校としても真摯に受け止め、今後の部活動に生かしていくべきだと考える

## <生徒自己評価の考察>

- ☆25の質問項目のうち6項目でA+Bの評価が上昇している。ただ、21項目が80パーセント以上、11項目が90パーセント以上と生徒達の自己肯定感の高まりや学級・学年・学校の雰囲気の良いと感じている生徒が大部分である。さらに、詳しく見るとA評価の値は前年度に比べて全項目で向上しているのは素晴らしい。特に昨年に引き続き、「生徒会活動の活発化」「部活動への取り組み」「良い学校だと思いますか」の項目のA評価のアップは、特筆すべきである。
- ☆No18の行事に関する項目では、昨年同様どの学年も、A評価が90パーセントを超えている。先生方の支援だけではなく、生徒の意識の向上も関係しているのだろう。
- ★No19の「困ったときに相談できる先生はいますか」の評価が他に比べて低い。昨年もA+Bの評価で72%である。また、No20の「スクールカウンセラーに相談しようと思いますか」もA+Bの評価は39%である。昨年度の評価を踏まえ、今年度も相談体制の強化をし、かつ、生徒指導種人を中心に、効果的な支援ができていると感じていたがまだまだ生徒達とはずれがあるようである。
- ★No9の清掃の項目では、生徒の自己評価は、非常に高いものになっているが、先生方の評価も上がり、学校全体での取り組みの成果と考えられる。

## ◎令和3年度の学校評価(生徒・保護者・職員)の全体的な感想 (生徒について)

- 今年度も、概ね生徒の自己評価は、良い状況にあると感じるが、全体的に、A評価のポイントをつけられるような支援を引き続き考える必要がある。
- 相談体制の見直し等を早急に行い、早期の相談などでの支援体制を構築する。  
現状を見るとSCだけでなく、学校内の相談の体制は充実してきているが、学校全体に浸透するために、さらに工夫していく必要がある。

## (保護者について)

- 年を重ねるごとに、行田中の取り組みについての理解が見られ、好評価が多いと感じる。しかし、学校として取り組んできたこと(情報発信面、施設面、生徒指導面など)には、それなりの評価があるが、今後も、今回の意見も含め、真摯に受け止め、学校生活向上に努めたい。
- 保護者とはやはり、信頼関係の構築が大事であると考え。今後もより良い関係を大切に築きあげたい。
- いじめ対策については、今後も対策を講じる必要がある。

## <全体について>

- ☆来年度も、情勢を鑑みながら、学校行事の充実が味わえる活動を工夫していくことが、大きな課題である。
- ◇学校評議員等の関係者評価も加え、来年度の参考にしたい。

☆日頃より、本校の教育活動に対して、ご理解ご協力をいただき誠に感謝しております。  
ご意見を参考に、より良い学校作りに、教職員一同努めていきます。